



### ～文化遺産を訪ねて歩こう!!～

4月号から来年3月号までの上尾歴史散歩は、『あげお歴史探検マップ』をもとに、市内の文化遺産を訪ね歩く市内の散策コースを紹介します。7～9月は、平方・大石地区周辺のコースを巡ります。



県指定天然記念物「馬蹄寺のモクコク」

4月 今に伝わる祈りの文化  
5月  
6月  
7月 荒川周辺に花開いた文化  
8月  
9月  
10月 人と文化が繋いだ町  
11月  
12月  
1月 街道に刻まれた歴史  
2月  
3月



| 距離        | 時間  |
|-----------|-----|
| 自然学習館スタート |     |
| 1.15km ↓  | 18分 |
| ①小林寺      |     |
| 2.46km ↓  | 29分 |
| ②馬蹄寺      |     |
| 0.33km ↓  | 3分  |
| ③橘神社      |     |

★時間は、歩いたときの目安の所要時間です

### 荒川の舟運が運んだ文化

今回から3回にわたって、荒川の豊かな恵みのもと、文化が花開いた地域を巡ろう。まず、上尾丸山公園内の自然学習館を出発し、江戸時代から昭和初期まで、荒川舟運の拠点として発展した、平方河岸の跡を指す。

自然学習館を出発し、「小林寺」①へと進む。ここに安置されている「銅像阿弥陀如来及び両脇侍立像」は、市内で唯一の善光寺式阿弥陀三尊像である。善光寺式とは、一つ大きな光背に阿弥陀如来、観音菩薩、勢至菩薩が配されるもので、長野県の善光寺に安置された阿弥陀三尊像を模したものである。

続いて上尾丸山公園から南側へと進む。県立上尾橋高校の先を左に曲がり、細い道を進むと「馬蹄寺」②の門前に入る。山門をくぐると、右手に県内で最大級になる立派なモクコクがある。県指定天然記念物のこのモクコクは、樹高12.5m、枝の広がり半径7.8mに達し、樹齢200年以上と推定される。モクコクの下には、市指定文化財の「鈴木荘丹俳諧歌碑」が建つ。寛政年間(1789、1801)に与野(さいたま市)に移り住んだ俳人の鈴木荘丹は、荒川舟運に沿って平方や川田谷(桶川市)をしばしば訪れ、活発に作歌活動を行

った。荒川が運んだ文化を今に伝える史跡である。

馬蹄寺を出てまっすぐ進むと、上尾と川越を結んだ旧道に出る。かつての平方の河岸からこの道に沿って、河岸と共に発展を遂げた町並みが残っている。平方郵便局がある交差点の一角に、「橘神社」③がある。この場所には当初平方村の鎮守である氷川神社があり、明治期に全国的に行われた神社合祀の流れの中で、周辺の神社と合わせて橘神社となった。拝殿本殿の裏には、市指定天然記念物の「天けやき」がそびえ、太く力強い幹を見せている。また、境内の一角には市指定文化財の「平方村河岸出入商人衆奉納の石祠」がある。

平方河岸は、江戸時代初期から年貢米などの荷物を上げ下ろしする河岸として、付近の村々から利用された。石祠の側面には、平方村が神徳により繁栄したお礼、輸送の安全やさらなる発展への願いが刻まれている。江戸時代中期の享保2(1717)年に奉納されたこの石祠は、荒川を通じて江戸とこの地域が強く結びつき、平方河岸が発展したことを伝える貴重な歴史資料である。

次号では、平方河岸跡を抜け、荒川に沿って北上しよう。

(上尾市生涯学習課)